

2026年度年間指導計画

園長	主任	記録者

【3歳児】

年間目標	子どもの姿	・保育者との信頼関係を基礎に、保健的で安全な環境を作り、情緒安定のもと生活に必要な基本的な習慣を育てる	園目標	・元気で明るい子（たっぷり遊んで、よく食べて、ぐっすり眠る）	評価・反省		
		・生活や遊びの中で言葉のやりとりをしながら、友達関係を広げていく。		・意欲を持って行動できる子（十分に育ちを見守られながら、さまざまな体験を通して、豊かな感性を育てる）			
期		1期（4月～5月）		2期（6月～8月）		3期（9月～12月）	4期（1月～3月）
行事		入園・進級式、誕生会、こいのぼり集会、内科健診、親子交流会（クラス懇談会） 身体測定、避難訓練		歯科健診、誕生会、水遊び、七夕集会、夏祭り、身体測定、避難訓練		運動会、内科健診、クリスマス会、避難訓練、ハロウィン 誕生会、身体測定、避難訓練	誕生会、節分、生活発表会、ひな祭り、お別れ会、卒園式、身体測定、避難訓練
ねらい		・好きな遊びを見つけ、園で遊ぶ楽しさを知る。 ・喜んで登園する中で園生活の流れがわかり安心して快適に生活する。 ・健康で安全に過ごせる環境の中で気持ちを受け入れてもらい楽しい生活を送る。		・思ったことややりたいことを言葉で伝えようとする。 ・水遊びやプール活動で夏の遊びを楽しむ。 ・午睡や水分補給などで休息を取り心身の疲れをいやす。 ・夏ならではの遊びや行事を楽しむ。		・秋の自然に興味・関心を持ち保育者や友だちと戸外遊びを楽しむ。 ・季節に変化に応じて衣服の調節を適切に行い快適に過ごす。 ・友だちとイメージを共有しながら、ゲームや表現を楽しむ。	・身の回りのことに自信を持って取り組もうとしたり友だち同士声を掛けたり手伝ったりして出来た喜びを感じる。 ・進級に期待を持ち意欲的に生活する。 ・異年齢児との関わりの中で年下の子に優しく接しようとする。
養護	生命情緒	・新入園児は園の生活に慣れ、初歩的な健康や安全の習慣に徐々に慣れる。 ・子ども1人1人の健康状態を把握し、体調の変化を感じた場合は適切に対応する。 ・子ども1人1人の気持ちを受け止め安心して過ごせるようにする。		・遊びを通して友だち思いに気づき関われるようにする。 ・園が自分の気持ちを素直に表せる安心の場となるようにする。 ・感染症予防のうがい・手洗い・消毒をすることで健康に過ごす。		・友だちへの関心が深くなり一緒に遊ぶ中でいろいろな気持ちに気づき上手に関わろうとする。 ・行事を通して成功や失敗を経験し成長する。 ・感染症予防のうがい・手洗い・消毒をすることで健康に過ごす。	・自分のできる事は積極的に言い褒められることで自信を持てるよう十分認めていく。 ・進級後に期待できるように成長を認め自信を持って生活できるようにする。 ・様々な活動を通して友だちと協力する経験をする。 ・風邪やインフルエンザ等 流行する時期なので、手洗いうがいの意味を確認し、丁寧にできるように伝える。 ・感染症予防のうがい・手洗い・消毒をすることで健康に過ごす。
		・感染症予防のうがい・手洗い・消毒をすることで健康に過ごす。					
教育	言葉健康表現人間関係環境	・自分の生活の場所や遊び場を知る。 ・春の自然に触れながら戸外で身体を動かし遊ぶ。 ・食事・排泄・午睡・手洗い・衣服の着脱等保育者に見守られ援助されながら自分でしようとする。 ・挨拶や返事などの生活に必要な言葉を使う。		・水遊びやプール活動などの夏の遊びを楽しむ。 ・生活や遊びの中で決まりが分かり守って遊ぼうとする。 ・上のクラスの子に刺激され運動遊びに意欲的に挑戦する。 ・物や場所の取り合い等、様々なトラブルを経験しながら友だちの気持ちやしてほしい事や自分の思いを保育者に伝えようとする。 ・保育者と一緒に歌を歌ったりリズム遊びなど体を動かすことを楽しむ。 ・のりやハサミを使って製作をする。 ・遊具や玩具の使い方を知り片づけたり大切に使うようとする。 ・自分と友だちが使っているものの区別を知り、少しずつ貸し借りをできるようにする。		・食事、排泄、手洗い、うがいなどの手順や意味を理解し一人で出来る。 ・友だちや異年齢児と関わって活動し年上の子の姿を真似したり簡単な決まりを守ったりし、ごっこ遊びやゲームを楽しむ。 ・その中で優しさやリーダーシップを経験する。 ・保育者や友達と音楽に合わせて体を動かす事を楽しむ。 ・生活や遊びの中で文字や数、図形や量などに関心を持ち色々な場面を使って楽しもうとする。 ・秋の自然に触れたり、自然物を使って製作など表現することを楽しむ。 ・自分の名前を理解し、ひらがなへの興味を持つ。 ・野菜の栽培や草花の自然に触れ植物の育ちに興味を持つ。 ・廃材を自分で準備し、想像しながら製作を楽しむ。 ・応援したりされたりすることの心地よさを感じながら活動する。 ・適度な休息を取りながら過ごす。 ・素材や道具を大切に使用する。	・寒さに負けず十分に体を動かして遊ぶ。 ・生活の流れがわかり見通しを持って自分から意欲的に身の回りのことに取り組もうとする。 ・友だちや異年齢児と関わって活動し年上の子の姿を真似したり簡単な決まりを守ったりし、ごっこ遊びやゲームを楽しむ。 ・友だちとの関わりの中で相手の気持ちに気づき相手の話を聞いたり、話したりする中で時に我慢することを覚える。 ・劇ごっこを通じ集団として一緒に活動する事を楽しむ。 ・相手にわかりやすく話すことの大切さに気付く。 ・友だちと一緒に遊びの場を作ったり探したりそれぞれのイメージを出し合って遊ぶことを楽しむ。 ・異年齢児との交流が広がり相手を思いやり優しく接しようとする。 ・自分の名前を理解し、ひらがなへの興味を持つ。 ・野菜の栽培や草花の自然に触れ植物の育ちに興味を持つ。また、そこからクッキングに興味を持ち、自分で作る楽しさを経験する。 ・廃材を自分で準備し、想像しながら製作を楽しむ。 ・大きくなったことを感じ自信を持って進級することに期待をする。
		・野菜の栽培や草花の自然に触れ植物の育ちに興味を持つ。 ・目的別活動を通じ自分のやりたい事を考え発表したり挑戦しようとしたりする。  ・適度な休息を取りながら過ごす。  ・2歳児と一緒に活動する中で、年下の児との関わりを楽しむ。		・安全に留意しながら水遊びやプール遊びを存分に楽しめるようにする。 また、言葉で伝わりにくいことは、手順等を図で表して掲示をし、理解できるように工夫する。 ・子どもが快適に過ごせるよう配慮し子供自身が自分の体調を伝えられるように考えるきっかけを作る。 ・水と親しみ、解放感や楽しさを味わえるようにする。 ・子ども達が自由に材料を取りに行き、製作できるような環境をつくる。		・運動会という場で日頃から頑張っているものを見てもらい更なる自信ややる気に繋げる。 ・ドングリや落ち葉などが落ちている公園へ行き秋の自然に触れられるようにする。 ・本や表を見て自分の名前を探すゲームをする等、ひらがなに触れる機会を作る。 ・子ども達の製作意欲を大切に、イメージを具体化できるように手伝うなど満足感を味わえるようにしていく。 ・歌やダンス等は子ども達が馴染みやすい曲、親しみのある曲を選んでいく。	・冬を健康に過ごせるよう衣服の調節や室温、換気に気をつける。 ・1人1人の生活習慣を見直しを確認する。 ・本や表を見て自分の名前を探すゲームをする等、ひらがなに触れる機会を作る。 ・遊びの中で数量や文字に対する関心が高められるような環境作りをする。
と配慮		・落ち着いて生活出来るよう、ゆったりとした時間を設定する。 ・持ち物の置き場所など各自のマークをわかりやすい場所に貼る。 ・子どもが興味を持ちそうな発達に合った集団遊びを取り入れる。 ・一人ひとりにわかりやすいよう繰り返し生活習慣を伝えていく。 ・4月中旬頃からパーテーションを開けていく。					
支援者		・保護者も新しい環境に不安を抱かないように送迎時や連絡帳などを通して子どもの日々の様子を細やかに伝える。 ・子どもの様子をこまめに伝え、保護者とのコミュニケーションを大切に。子どもとの体調についても家庭との連携を取り合う。		・プール活動が始まり持ち物も増えるので使用する物を分かりやすく掲示するとともに記名の確認もお願いしていく。 ・保護者の子育てに関する思いなどを受け止め共感していく。 ・子どもの体調についても家庭との連携を取り合う。 ・歯磨き指導がある事を伝え、歯ブラシを用意してもらうと共に家庭や園の様子も共有していく。		・行事への取り組みを伝えながら子どもの成長発達を園と家庭で共通理解できるようにする。 ・手洗いうがいの必要性を伝え家庭でも取り組んでもらえるようにする。 ・子どもの体調についても家庭との連携を取り合う。	・感染症が流行する季節であるので子どもの健康状態を伝え合う。 ・1年の成長を喜び合い理解、協力への感謝の気持ちを伝える。 ・進級に対して期待感を持てるよう、子どもと保護者の思いを大切に。子どもとの体調についても家庭との連携を取り合う。
食育		・保育者や友だちと一緒に楽しく食べる。 ・様々な食材や料理の名前を知る。 ・野菜を育てたり野菜の生育を見る中で食に興味を持つ。 ・食器に手を添え、姿勢良く食べる。 ・収穫の喜びを感じ、みんなで分け合って食べる楽しさを味わう。 ・「少なくする」「3つください」など、自分で食べられると思う量を保育者に伝える。 ・三指持ちをしようとする。		・食事前の挨拶の意味を伝え、意識を持ってできるようにする。 ・自分達で育てた野菜を収穫し味わたりする。 ・野菜を育てたり野菜の生育を見る中で食に興味を持つ。 ・箸を使った遊びを取り入れながら箸に慣れていけるようにする。 ・食べ終わる時間などを意識しながら食事をする。		・芋掘を体験して、みんなで収穫したものを皆で食べる嬉しさや楽しさを味わえるようにする。 ・少しずつ箸を使えるようになる。 ・自分の食器を自分で片付ける。	・美味しく食べる喜びを積み重ね、食べる意欲を持つ。 ・メニューによって食具を使い分け、食べこぼしに気を付け気持ちよく食事する。